

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

川崎フロンターレ 中村憲剛選手

川崎フロンターレの中村憲剛です。

僕自身、去年（11月に）怪我をしたりハビリを今家でやっています。あとは子どもが3人いるので、子どもたちの勉強を見たり一緒に遊んだりしながら家族で家で過ごしています。

僕が小さい頃どんな少年だったかという、背はすごく小さくてすばしっこくて、よくしゃべる元気な子どもだったと記憶しています。学校が終われば、すぐ校庭でサッカーをして、朝から晩までサッカーのことを考えているサッカー少年。今と大して変わらないんですけど、そういう少年だったと思います。夜遅くまでサッカーやりすぎて近所の人に怒られることもしばしばありました。

つらいことの乗り越え方。僕自身フロンターレに入って、今年で18年目になりますけど、嬉しいことよりもつらいことの経験の方が多かったと思っています。また、去年の11月に全治7か月の膝の怪我を負いました。人によっては、7か月もサッカーができないので、すごくつらいんじゃないかという話をする人もいるんですけど、僕自身の中では、今年40歳になるんですけど、そういう選手がこの怪我をしたことに意味があるんじゃないかと。つらいときでも自分次第で前向きに持っていけるんじゃないかって思っていて、フロンターレで優勝逃したときも、ワールドカップのメンバーに入れなかったときも、やっぱり自分次第で切り替えて前向きな方に、自分を信じて、自分の望む未来に持ってきたつもりです。その結果、フロンターレはJリーグ優勝二連覇することができましたし、去年はルヴァンカップの優勝タイトルを取ることができました。とにかく自分を信じて、つらいことがあっても、前向きに考え方を変えていく、自分次第で前向きに持っていけると思っています。

今現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でみんな学校に行けない日々が続いていると思います。友達に会えなかったりするのもつらいでしょうし、やっぱり学校に行けないっていうのは大変なことだと思います。ただ、つらいことも、さっき言ったとおり、自分次第で前向きに変えていける時間なのかなと思っています。このコロナが落ち着いて、また学校が始まったときに、この時間が無駄じゃなかったと、自分にとって成長できる日々だったと思えるように、みんな1日1日を大切に過ごしてほしいなと思います。

僕は川崎の子どもたちを応援しています。